＜葉いもち感染好適条件出現判定モデル(BLASTAM)について＞

BLASTAMはいもち病菌の感染に適した条件が現れたかどうかを気温、降水量等の気象データを用いて判定するモデルです。各地点(アメダスポイント)のそれぞれの日に付けている印や番号はその日が以下の条件を満たしていたことを示しています。

●:感染好適条件(湿潤時間中の平均気温が15～25℃で、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある)
①:準感染好適条件(湿潤時間は10時間以上だが、前5日間の平均気温が20℃未満)
②:準感染好適条件(湿潤時間は10時間以上だが、前5日間の平均気温が25℃以上)
③:準感染好適条件(湿潤時間は10時間以上だが、湿潤時間中の平均気温が15～25℃の範囲外)
④:準感染好適条件(湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
－:感染好適条件なし
？:判定不能

・感染好適条件が、連続して広い地域で出現した場合、通常7～10日後に葉いもちの初発生が認められるようになる。
・さらに初発生時期から約1週間後、発病の増加が始まる。
・薬剤防除は、粒剤は感染好適条件が現れたらすぐに、粉剤・液剤は初発生を認めたらすぐに実施する。

2026年BLASTAM判定結果

月日	鰐浦	厳原	芦辺	平戸	松浦	佐世保	西海	有川	長崎	島原	福江	口之津	脇岬
5/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/13	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/20	-	-	●	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/27	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/28	-	-	●	●	●	●	-	-	●	●	-	-	-
5/29													
5/30													
5/31													